

再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：都市局 街路交通施設課
 担当課長名：荒川 辰雄

事業名	地域高規格道路 千葉中環状道路 都市計画道路 塩田町菅田町線（塩田町地区）	事業区分	街路	事業主体	千葉市
起終点	自：千葉県千葉市中央区塩田町 至：千葉県千葉市中央区生実町	延長	0.78 km		
事業概要					
都市計画道路塩田町菅田町線（塩田町地区）は、千葉都心を囲む延長約20kmの千葉中環状道路の一部であり、地域高規格道路の指定を受けている路線である。本路線の整備により、東南部方面と臨海部とのアクセス強化が図られるとともに高規格道路である京葉道路蘇我ICとの接続など、広域的なアクセス性の向上による蘇我副都心の育成強化が図られるものである。					
H19年度事業化	S44年度都市計画決定（H19年度変更）	H20年度用地着手	R3年度工事着手		
全体事業費	約107億円	事業進捗率	約25%	供用済延長	— km
計画交通量	23,400～42,600台/日				
費用対効果	B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 2.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 68/107億円 事業費：64/103億円 維持管理費：3.7/3.7億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 162/162億円 走行時間短縮便益：142/142億円 走行経費減少便益：14/14億円 交通事故減少便益：5.8/5.8億円	基準年 令和3年	
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=1.3～2.2（交通量±10%） 事業費：B/C=1.4～1.7（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.3～1.7（事業期間±20%）					
(残事業) 交通量：B/C=1.7～3.2（交通量±10%） 事業費：B/C=1.9～2.3（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.7～2.3（事業期間±20%）					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・蘇我特定地区と京葉道路蘇我インターチェンジを繋げ、蘇我副都心の進展に寄与する。 ・災害時における緊急輸送道路の多重性・代替性が確保され、災害に強い都市構造が形成される。 ・国際拠点港である千葉港へのアクセス性が強化され、物流の効率化が図られる。 ・地域高規格道路「千葉中環状道路」が概成され、都市内交通の円滑化が図られる。 					
関係する地方公共団体等の意見					
・地元の役員や地権者で構成する「塩田まちづくり研究委員会」と、当該事業の整備に対して意見交換を行い進めている。（事業継続に異論なし）					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年5月に、京葉道路蘇我ICの木更津方面への出入口が供用開始され、フルICとなった。 ・平成22年8月に、地域高規格道路「千葉中環状道路」の一部を構成している新港横戸町線が開通した。 ・平成28年10月に、国道357号湾岸千葉地区改良（6車線化及び地下立体）が全線開通（車道部）した。 ・平成29年度に、国道357号湾岸蘇我地区改良が事業化された。 					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率約80%、事業進捗率約25%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
コストを縮減するための道路構造の変更に伴う、地元や関係機関との調整や用地取得に日時を要した。残る用地の取得を継続するとともに、早期完了を目指し、橋梁下部工の工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
鉄道横断部の交差構造を見直すことでコスト縮減を図り、また、新技術等の活用を検討することにより、更なるコスト縮減に努める。					
対応方針	事業継続				

